



第4期

(概要版)

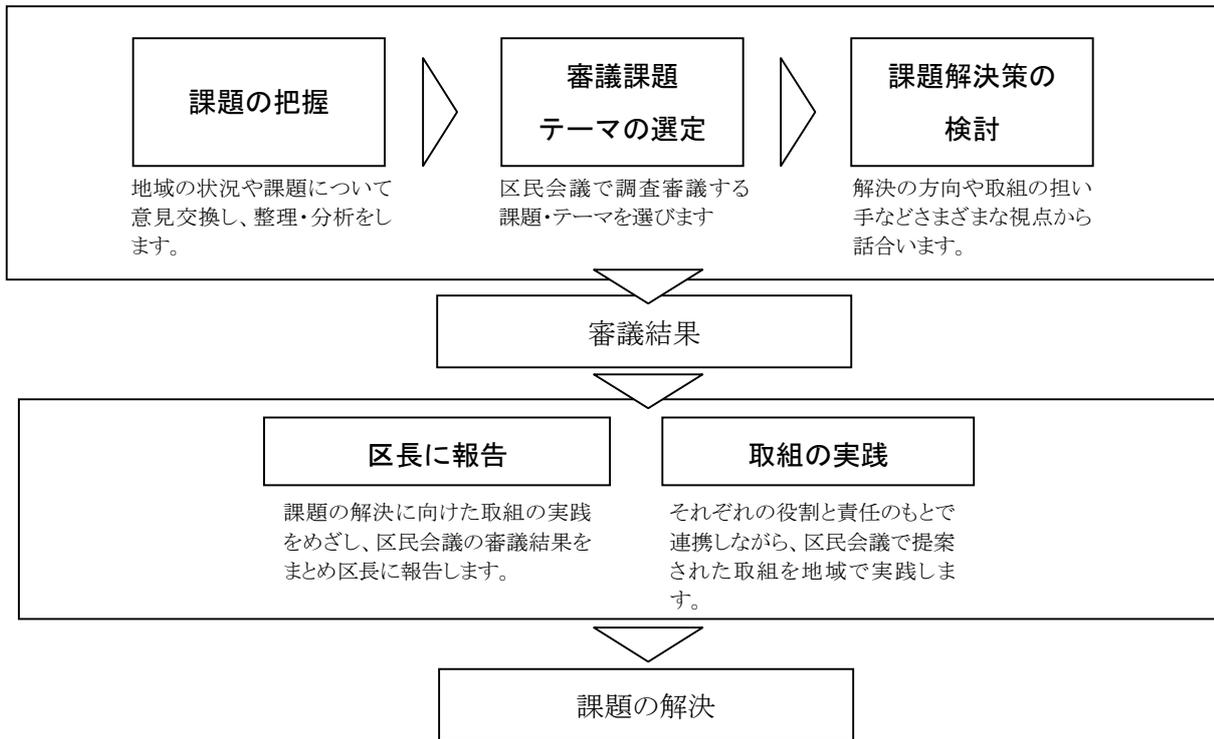
# 川崎区区民会議中間報告

平成 25 年 3 月 川崎区区民会議



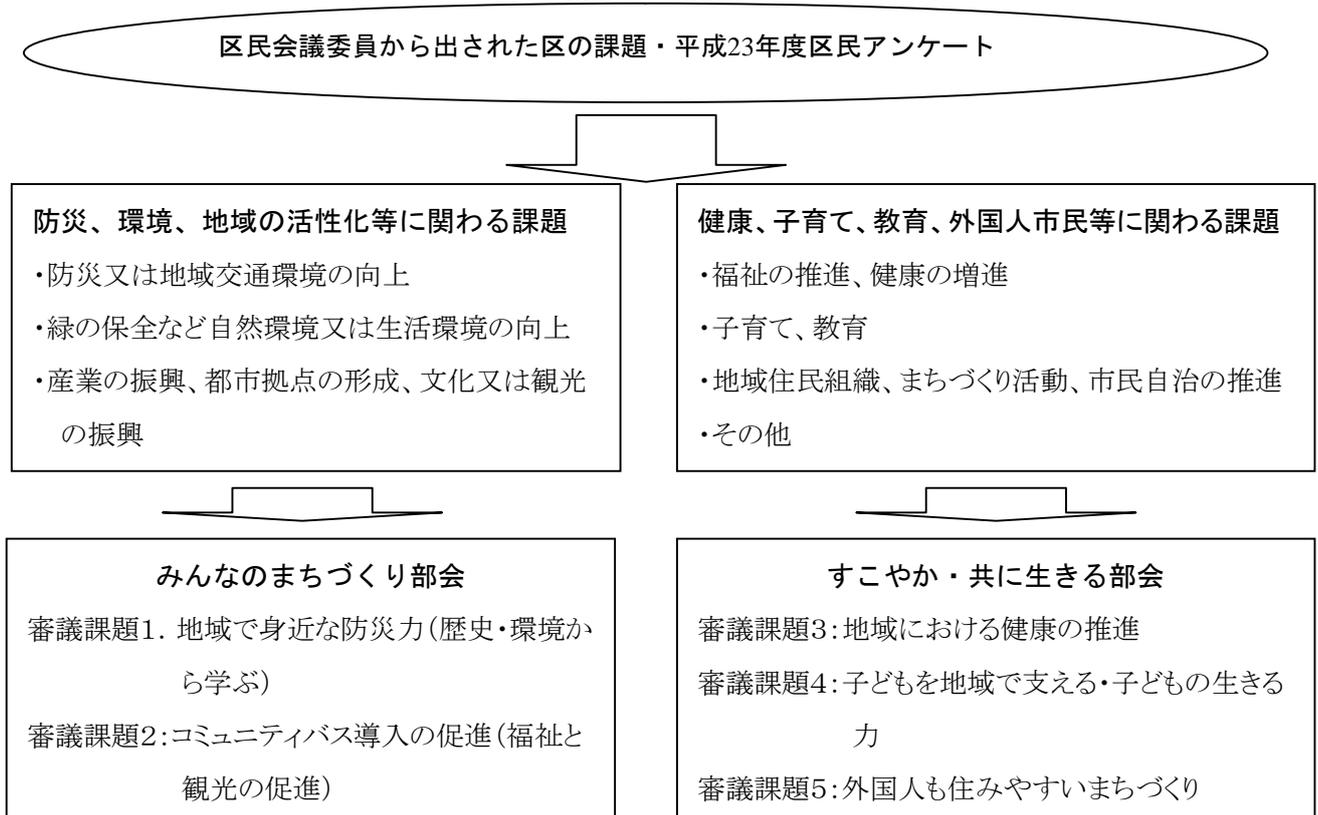
## ■ 区民会議とは

暮らしやすい地域社会を目指して、区民のみなさんが中心となって参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議する会議です。



## ■ 第4期川崎区区民会議の経過

第4期川崎区区民会議では、次のような経過で専門部会の設置し、審議課題の設定を行いました。



## ■ 提案

具体的な解決策の方向性が決まったのものについて、区民会議から区へ提案します。

### 1 地域で身近な防災力の向上に向けて

#### ☆ 海拔表示、避難場所の位置表示等の設置を提案します

防災対策について、市内で唯一海に面している川崎区は、津波への対策も準備していく必要があります。いざ津波が発生した時は一刻も早く高いところに避難する必要があります。

そのため、現在地の海拔がどのくらいの高さなのか分かるような表示や避難施設の場所や現在地等が分かるような表示を設置することを提案します。

表示については、誰もが目にしやすい場所とするため、公共施設等の他、地域の協力を得ながら町内会の掲示板等に設置することが望めます。

また、川崎区は外国人も多く住んでいることから、誰もが理解できるようにするため、海拔表示については、多言語でわかりやすく表示することを提案します。



### 2 外国人市民も住みやすいまちづくりに向けて

#### ☆ 子どもの健やかな成長に向けた効果的な情報の伝達を提案します

外国人市民も住みやすいまちづくりについて、区内には多くの外国人市民が生活しています。外国人市民が安全・安心に生活を営む上では、行政から発信する情報を確実に届ける必要があります。

特に子どもの健康に関わることは重要な情報の一つです。

そのため、子どもの健康の中でも予防接種について、その必要性を正しく伝えるために、多くの外国人市民が使用する英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語等の6ヶ国語で広報資料を作成することを提案します。

外国人市民は、それぞれ育った国が違うことから、予防接種に関する考え方も違いがあると考えられますので、広報資料の作成時には、理解を深めてもらうための工夫が必要です。

さらに、広報資料を外国人市民に効果的に伝えるため、地域ぐるみで協力していくことが望めます。

## ■実施方針

この1年間調査審議してきた内容を審議テーマごとに分類し、実施方針としてまとめました。

### 審議テーマ1:地域で身近な防災力(歴史・環境から学ぶ)

#### <解決策1 海拔表示について>

##### (1)課題解決策の概要

川崎区は、市内で唯一海に面している区であり、津波の被害が懸念されます。津波が発生した時は、一刻も早く高いところに避難する必要がありますが、外出している時など、現在地の海拔がどのくらいなのかを理解しておくことは難しいものと考えられます。

また、災害時に避難する場所においても、避難施設の場所がどこなのか、どのようなルートを通るのか、わかりやすい仕組みが必要です。

このようなことから、避難勧告又は避難指示が出されたときに迅速に避難することができるように地域の身近な場所に、海拔表示を設置するとともに、区民の誰もがすぐに避難できるよう避難施設の位置、現在地や避難経路がわかる表示が必要です。

##### (2)今後の審議の方向性

地域の誰もが目にしやすいような場所に設置することが必要です。

今後は、設置場所や外国人市民への配慮等、地域住民の意見を聞いて審議していきます。



### 審議テーマ2:コミュニティバス導入の促進(福祉と観光の促進)

##### (1)課題解決策の概要

川崎区では、川崎駅につながるバス路線は充実していますが、大師地区と田島地区とを直接結ぶバス等、南北の主要な施設を結ぶ交通機関がない状況です。このようなことから、地域交通の利便性向上や福祉、観光の視点を入れた回遊性の高いコミュニティバス導入の検討が必要です。

##### (2)今後の審議の方向性について

今後は、地域交通の利便性向上や福祉、観光の観点から、川崎区におけるコミュニティバス導入やあり方などについて審議していきます。



## 審議テーマ3: 地域における健康の推進



### (1) 課題解決の概要

川崎区は、全国的に予防接種、住民健診の受診率が低い状況にあります。また、子どもの予防接種については、学年が上がるほど受診率が低くなっています。このようなことから、予防接種について、保護者に調査を実施し、その結果を踏まえ、予防接種の理解を深めてもらう方法が必要です。

### (2) 今後の審議の方向性について

予防接種に関するアンケートの内容を検討します。アンケートの調査結果を踏まえ、予防接種の理解を深めてもらうよう地域の各種団体の意見を聞き、効果的な方法を審議していきます。

## 審議テーマ4: 子どもを地域で支える・子どもの生きる力



### (1) 課題解決策の概要

子どもを健全に育てていくためには、家庭以外にも地域で子どもが安心していられる場所や気軽に相談できる場所など、地域全体で子ども達を支える環境が身近にあることが望ましいです。このようなことから、地域で子どもの育成支援を行っている団体同士の情報共有や連携を図る仕組みが必要です。

### (2) 今後の審議の方向性

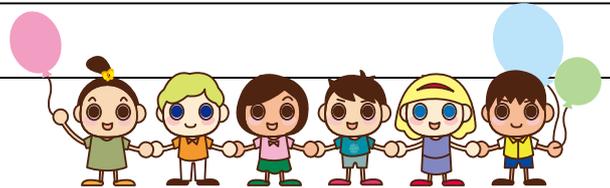
#### ■子どもを支える団体が連携する仕組みの検討

区内には、子どもの育成支援に関する地域活動団体があり、それぞれの団体は専門分野を持って活動しています。各団体間の情報共有が図れると更に効果的な取組みにつながると考えられます。このようなことから、地域活動団体同士の情報の共有や連携が図れる仕組みについて、地域の各種団体の意見を聞き、審議していきます。

#### ■他都市の取組事例等の調査

子ども支援策について、他都市の先進事例を調査します。

## 審議テーマ5: 外国人も住みやすいまちづくり



### (1) 課題解決策の概要

川崎区では、外国人市民が多く、外国人市民へ必要な情報が確実に届いていない状況が見受けられます。このようなことから、外国人市民に十分な情報が行き届く方法が必要です。

### (2) 今後の審議の方針について

「審議テーマ3 地域における健康の推進」「審議テーマ4 子どもを地域で支える、子どもの生きる力」の中で、外国人市民向けに、健康や防災等の情報を効果的に伝えていく方法について審議していきます。

外国人市民への情報提供、応接や広報の課題等について、区役所の窓口の職員等に調査を行います。

## ■区民会議フォーラム

区民会議のこれまでの主な取組と第4期の審議内容について、川崎区区民会議フォーラムを開催し、地域の皆さんに報告しました。

また、ポスターセッションでは、第4期区民会議の審議内容をパネルにまとめ展示し、ご意見をいただきました。

### (1)概要

日 時：平成24年11月24日（土）  
15時15分～15時45分

場 所：サンピアンかわさき

参加者数：75名



### (2)内容

- ア これまでの主な取組の報告
- イ 第4期審議経過及び審議内容の報告
- ウ ポスターセッション

### (3)いただいた主なご意見(回答数:40件)

- ・防災計画は市レベルではなく、町内会・近隣で計画した方がよい。
- ・地区全体で子どもを見守ることが必要と考える。

## ■第3期川崎区区民会議の主な成果について

### ウォーキングガイドブックの作成

- ・高齢者が外に出かけることを促すため、ウォーキングガイドブックを作成し、ウォーキングイベント等で配布しました。

### 「区の木」「区の花」の制定・効果的な活用

- ・平成24年4月1日に迎える区制40周年を記念して、「区の花」「区の木」を制定し、植栽、ロゴマークの作成、イベントでの活用等、地域と連携した取組を実施した。



### 【第4期川崎区区民会議委員】

藍原 晃	赤間 靖夫	新井 一成	○新井トキ子	石渡 勝朗
岩瀬 絹代	木島 千栄	小泉 忠之	鈴木 真	高橋 義光
◎寺尾 宇一	富田 順人	戸村 正房	秦 琢二	原 千代子
深澤 香織	藤岡 玲子	吉野智佐雄	米山 実	

50音順・敬称略 ◎委員長 ○副委員長

第4期川崎区区民会議中間報告書概要版  
発行：平成25年3月  
事務局：川崎区役所まちづくり推進部企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地  
電話 044-201-3296 FAX044-201-3209